

平成26年度 関東地区グループ活動第1回 トヨタ殿講演会を実施

協豊会関東地区ではトヨタ自動車さんのグローバル調達方針の重点取り組み課題をテーマとして、会員会社への情報提供や課題解決に向けた取り組みにつながる活動を行なっています。

その本年度第1回目のグループ活動として、7月29日(火)午後、トヨタ自動車(株)東京本社の大会議室をお借りし、トヨタさんから講師をお招きしての講演会を開催しました。

ご講演をいただいたのはトヨタ自動車(株)製品企画本部地域事業2グループの山口主査様で、

「南西アジア！行って見たらこんなところ！」をテーマにしてお話をさせていただきました。

当日は、南西アジア地域の市場動向やトヨタさんのお取り組み状況をお伺いできるということで、グループ活動登録会社49社から60名を超えるメンバーが集まりました。また、協豊会事務局から小谷局長様をお招きし、東海地区、関西地区からもご参加いただき、大盛況の講演会となりました。



【聴講の様子】



【講師の山口主査様】

山口主査様のご講演は、南西アジアの4ヶ国、スリランカ・バングラデシュ・ネパール・ブータンのそれぞれの国情や自動車市況、トヨタ車の販売やお取り組みの状況についてのお話をさせていただきました。「百聞は一見にしかず」と言いますが、今回の山口主査様のお話は、トヨタさんの社内技術部門にアピールするために制作された「現地を紹介するビデオ」をふんだんに交えながら、大変興味深く、分かりやすい内容で、参加者は皆、熱心にメモを取りながら聴講していました。

質疑応答のコーナーでは、トヨタ自動車(株)中近東部の朝倉様や、現地でトヨタさんと一緒に活動を続けている豊田通商(株)中近東自動車部の三浦グループリーダ様と畑課長代理様にも加わっていただき、聴講者からの様々な質問に対してそれぞれ大変ご丁寧な回答をさせていただきました。

グループ活動メンバー各社は今回の講演を通じて、グローバル・ビジネスの拡大に向けて取り組む中で、現在は直接関わるのが少ない南西アジア諸国の自動車市場について、将来的には間違いなく成長拡大していくということが理解でき、さらには、それらの国々に取り組んで行くトヨタさんの意気込みというものを強く感じる事ができました。

山口主査様のご講演の後、グループ活動メンバーは各グループに分かれて、自身のグローバル・ビジネスへの関わり状況を絡めながらの自己紹介を行ない、第1回目の地区活動は大変有意義な内容を持って終わりました。

また今回は本年度初回の活動ということで、山口主査様を交えての懇親会も開催され、グループ活動メンバー各位には、相互に親交を深めていただくことができました。



【グループに分かれて自己紹介をする参加メンバー】

関東地区では今年度も自動車業界を取り巻く様々な課題を踏まえ、トヨタさん・会員会社相互の連携を強め、関東地区の特色を活かした地区活動を企画し、実施して行きます。